

第 246 回競技委員会議事録

1. 日 時 : 2017 年 3 月 1 日 (水) 18 時 00 分 ~ 21 時 00 分

2. 会 場 : 連盟本部事務局

3. 出席委員 :

競技委員会 : 委員総数 12、定足数 8、出席 12 (内委任状 2) で成立。

寺本直志委員長、

ロバート・ゲラー競技会事業担当業務執行理事、

斉藤千鶴乃、山後秀幸、吉田正、横井大樹、桜井雅子、

正村祐一、西田奈津子、仲村篤志

委任状 : 佐々部君敏、林伸之

オブザーバー : 浅越ことみ、鈴木正人

4. 議事の経過及び結果 : 寺本直志委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 クラブディレクター承認の報告

前田 久子	180791	C-01114	北海道
津田 邦子	181503	C-01115	北海道
大井 香澄	206583	C-01116	北海道
中尾 美穂	213233	C-01117	北海道
佐藤 麻千子	213493	C-01118	北海道
小林 美保子	213790	C-01119	北海道
成田 正樹	182209	C-01120	神奈川県
豊島 日出夫	201755	C-01121	静岡県
高橋 幸子	202406	C-01122	千葉県
平井 正俊	67380	C-01123	静岡県
松浦 伊砂子	141332	C-01124	長崎県

第 2 号議案 MP ワーキンググループからの報告

(1) MP ワーキンググループから議事録の提出があり、MP 規則改正案の説明があった。

(2) 計算式から変更し現行の規則に対して抜本的な修正を行う、変更点は下記の通り。

- ・オーバオール計算式を変更しテーブル数に対する MP 評価を均一化した。
- ・ペア戦のセッション計算式をチーム戦と同じにする。そのため各採点形式毎にチーム戦の勝ち VP に準ずる値をセッション毎に算定する。
- ・ヒューストントライアルのゲーム係数を 1.8 から 1.6 に変更する
- ・ペア戦のプレイヤー係数を 6 から 5 に変更する
- ・ナショナルペア戦の固定 RP も 1.2 倍する。
- ・B-a-M のセッション係数を廃止する
- ・平日係数を 12 から 14 に変更する。ただし IMP リーグには適用しない。
- ・セッション係数で 5 セッション以上に係数が掛かっていたのを 7 セッション以上に変更。
- ・フライト係数の最低値を 6 から 8 に変更する。それに伴うフライト係数も変更する。
- ・抽選チームに対して新たに 14/16 の係数を掛ける。ただし対象はセクショナル以上の競技会だけとする。
- ・具体的な変更内容は添付資料を参照。

(3) 競技会種別の総発行 MP 集計値と具体的な競技会での MP 発行例の資料について報告があった。

- ・2014 年の 1 年間に行われた競技会について新 MP 規則での再集計を行った
- ・MP 発行量について、RP において 2% 程度の減となったが BP が増えるため全体で 5% 増
- ・ペア戦のセクショナルは RP が 15% 増、全体では 20% 増
- ・IMP 戦は RP は 2% 増、全体では 19% 増
- ・チーム戦セクショナルは、10% 減、全体では 5% 減
- ・ペア戦は MP が 20% 増加、チーム戦は 5% 減少し、競技間の格差が縮まった。

- (4) 上記内容について検討した、チーム戦の MP が減少したことや、IMP の RP が微増であることへの意見や MP 制度の継続性や整合性の観点から許容の範囲内という意見があり、ワーキンググループの変更案を理事会に提示することで合意した。
- (5) 資料について意見があり、一部修正することとした。

第 3 号議案 その他議案

- (1) 2 月 11 日に開催された四谷 STF50(△ 50/△ 20)において、本来 2 セッションゲームで申請されていた競技会を 1 セッションゲーム 2 回として運営しプレイヤーに説明していたことについて四谷 BC から報告があった。当日プレイヤーには 1 セッションゲームであることの周知がなされたらしいが、レッドポイントの発行などの説明がなく参加者に不利益な問題があること、参加者が午前午後をとおして同一であったことを踏まえて 2 セッションゲームとして取り扱うこととした。四谷 BC にはスコアを 2 セッションゲームとしての結果の報告とプレイヤーへの連絡を指示することとした。
- (2) マルチ 2D に対するサンプルディフェンスの持ち込みについて、ディレクターへの提出を対戦者への提出に変更することとした。一般には 5 月以降の競技会に適用されるが日本リーグにおいては 4 月から適用することとした。
- (3) スコア訂正期限について質問があり、仲村委員より過去の規則から変更点と現行の規則、JCBL 主催競技会での対応について説明があった。日本の競技会においてはプライベートスコがすぐに配布されることや、明白な入力ミスを見付ける機械的な機能があることなど踏まえ現行の規定が妥当であることで合意した。
- (4) ブルーリボン杯・レッドリボン杯に関して、参加者が以前より減っているため固定レッドポイントについて見直しを検討した。固定ポイントはテーブル数の変動を重大には考慮しないこと。固定ポイント作成時からの変動は少ないこと。レッドリボン杯との合計テーブル数は十分に多いこと。テーブル数を抜きにしても多すぎないかという意見。参加制限が優勝者であり通常の競技会でも係数が倍になる。などの意見があり現行規定通りとすることで合意した。
- (5) 日本リーグ II 部のチーム数について降格チームが 3 チームになった現在 12 チームの構成を見直してはどうかという意見があった。10 チーム 9 ラウンドでは 2 週末の競技会では遠隔地からの参加者の対応など問題が多く現行のチーム数で行うことで合意した。

次回競技委員会は 2017 年 5 月 17 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

以 上